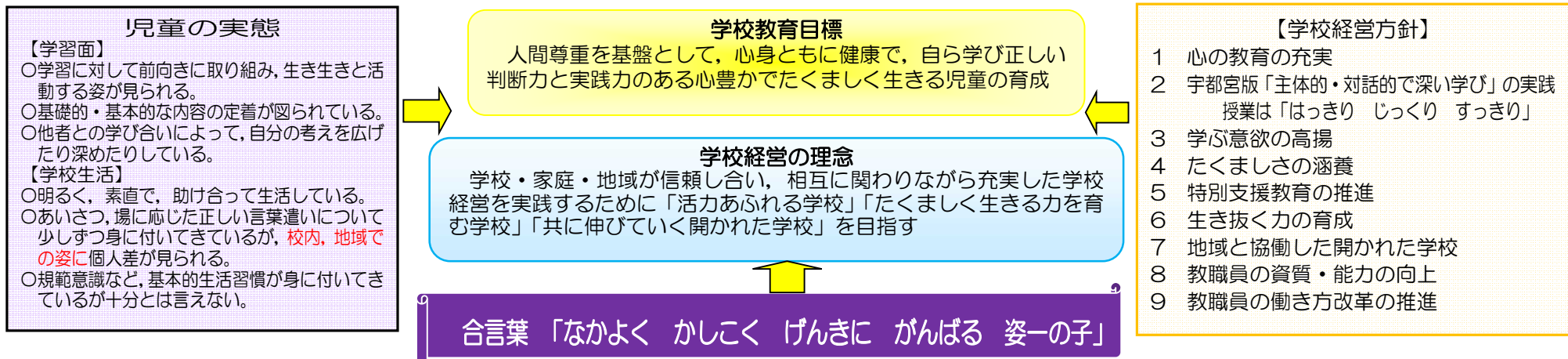
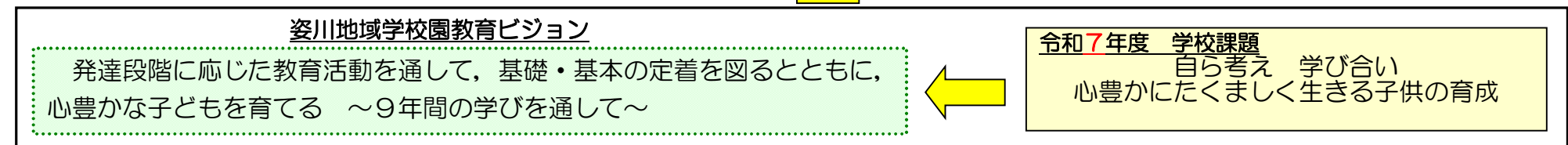


令和7年度 姿川第一小の教育 グランドデザイン

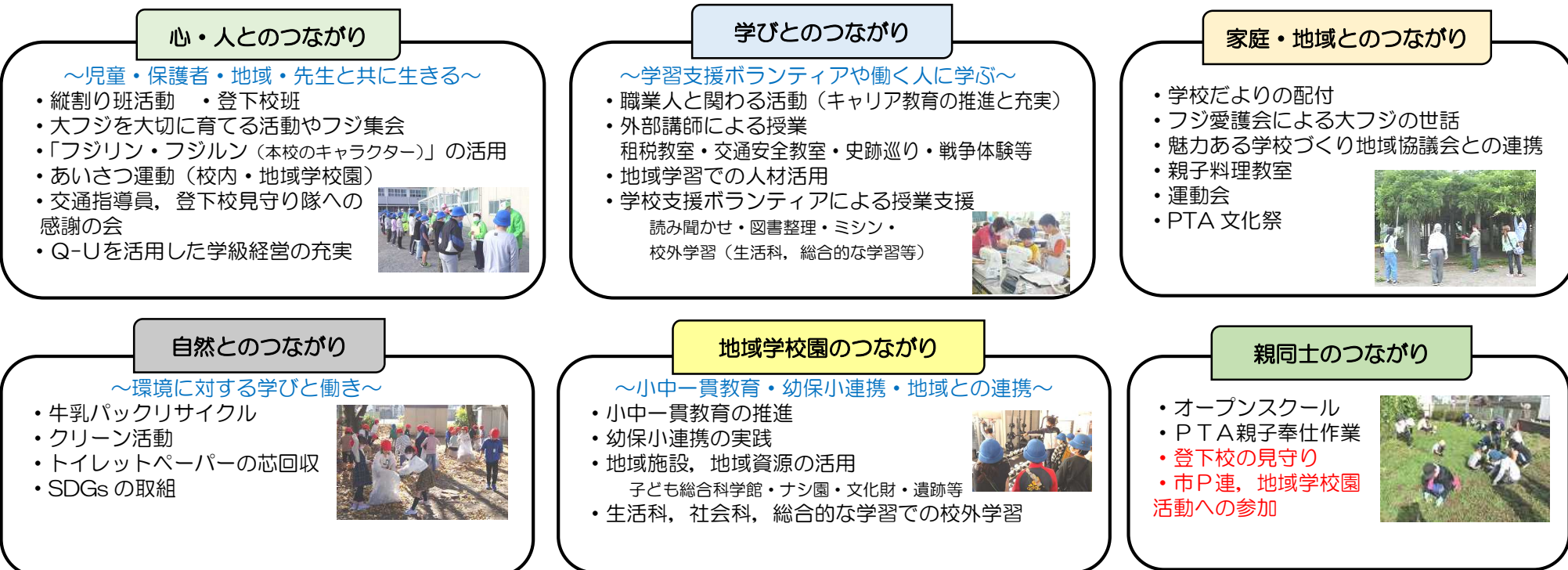


【なかよく】	【かしく】	【げんきに】	【がんばる】
心豊かで 思いやりのある子	深く考え よく学ぶ子	健康で たくましい子	ねばり強く やりぬく子
基本的な生活習慣を身に付け、他を思いやる心で行動する子	自ら考え、判断・行動するための基礎的な学力を身に付けている子	心身の健康のために、自らの体力向上に取り組む子	強い意志をもち、自己実現のために最後までやりぬく子



本年度の重点目標				※文頭に○が本年度の重点指導項
1 心を育む活動の充実 ① 基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成 ・「姿一小の合言葉」を中心とした生活目標の設定 ○あいさつ運動の推進 ② 思いやりの心の育成 ・「ふわふわ言葉」の推進 ・異学年交流、縦割り班交流 ・幼児や高齢者との交流 ③ 望ましい人間関係の確立を目指した集団の育成 ○構成的グループエンカウンター等の手法を積極的に取り入れた学級学年間の人間関係づくりの充実 ・Q-Uを活用した学級集団づくり ○道徳科の授業の充実 ・教育相談の実施 ④ 読書活動の充実 ・読書タイムや読み聞かせボランティアの活用	2 学力の向上 ① 基本的な学習習慣と基礎学力の定着 ○学習態度の指導と学びに向かう集団づくり ○「書くこと」を意識した学習活動の工夫と朝の学習の充実 ○自分の考えを伝える活動の充実 ・習熟度別学習・少人数指導・TTの充実 ② 授業の工夫・改善 ○「主体的・対話的で深い学び」の学習過程の実践 ○学年に応じた教科担任制の推進、拡充 ・外国語科、外国語活動の指導の工夫 ・1人1台端末の効果的な利活用 ③ 家庭学習の充実 ・家庭学習強化週間の設定 ○自一1グランプリの実施	3 健康・体力の向上 ① 体育指導の充実 ○サーキット運動 ・がんばりカードの活用 ② 運動の日常化の推進 ・主体的に取り組む体力増強の推進 ○なかよしタイムでの共遊 ・「うつのみや版ミニマム」の取組 ③ 健康教育の充実 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励 ・歯磨チェックの実施 ○姿勢指導の強化 ○栄養や正しい食事マナーの啓発 ④ 安全指導の徹底と判断力、実践力の育成 ○交通安全教室（歩・自転車利用）の実施 ・避難訓練の実施	4 自己のよさを生かす態度の育成 ① 学級経営の充実 ○居がいのある学級づくりの推進 ・自己肯定感を育む学級活動の推進 ○児童に寄り添う指導と組織的な支援（不登校未然防止、早期発見、早期対応、長欠児童への支援） ・主体的に取り組む係活動の充実 ② 自己理解を促す道徳科や特別活動の充実 ・エンカウンター等により自己のよさに気付く活動の工夫 ○考え、議論する道徳による自己理解への工夫 ③ 児童一人一人のよさを認め、褒め、伸ばす指導と自信をもたせる支援 ④ 自己の目標に向けて粘り強く取り組む意識の醸成 ○キャリア教育の推進と「宮っ子『夢』教室」の実施	

特色ある学校づくり 「つながりプロジェクト」





【解説】

教職員と児童が共有してほしい思い・願い … 汎用性のあるキーワード

Step up

このワードには、上がること、進歩すること、向上することの意味があります。更に詳しく検索すると他にも歩み寄るという意味もあるそうです。これらのことを学校の学習や生活場面で生かすとなると、イメージが膨らむと思います。大切なことは、個々に応じて目標やめあてを持つことです。それは、小さなことを短期間で達成できそうなこと勧めています。その積み重ねが自分を成長させるエネルギーになると考えます。

Shine

このワードは光る、輝くという意味があります。先月の運動会では、競技に参加したり係の仕事をしたりするなかで、自らを輝かせた児童も多かったと思います。児童はそれぞれ持ち味があり、学校で活躍したり力を発揮したりする場面は一樣ではありません。そして、学級の中も光る児童は日替わりで出ることがよくあります。その瞬間を教職員は見逃さず、認め、賞賛したいと考えます。また、学級、学年児童の中でもお互いのよさを認め合い、励ましながら成長する集団を作っていきたいと考えています。

Smile

ご存じのとおり名詞で「笑顔」、動詞で「微笑む」を意味します。年間で学校へ登校する日は約200日あります。教室内外で新たなことに出会い、学び、人と関わることで変化が生じる日々を過ごすので、常に笑顔でいることは難しいと思いますが、姿一小でたくさんの笑顔が見られることを望み、教職員は努力していかなければならないと考えます。児童が小さなことでも克服したり、達成したりした時に見せる微笑みを目にしたときは教師として冥利に尽きます。

Only 1

学校は授業での学習内容はもとより人との関係を学ぶ場所でもあります。人間は生まれながらにして他の人と異なり、唯一の存在です。そして、次第に個性が確立され、周りを観察すると、自分と同じところや違うところもあると感じる時があります。その相違は誰も否定や批判できるものではありません。したがって、幼い頃から互いを認め、尊重し合える関係を築くことの大切さを学ぶことは必要です。学校ではそのような個人と集団を育てていきたいと考えています。そして、自分がオンリーワンになるためには諦めずに努力することも大切だということも教えていければと考えています。

Number 1

善い行いで、あるいは何かの成果の表れとして1番になったときの喜びは何とも言えません。しかし、だれでも、いつでも頂点に立つとは限りません。むしろ、その可能性は低いかもしれません。それでも諦めずに、そして、粘り強く上を目指して努力することに価値があると考えます。たくましい児童が増えてほしいと願います。